

資料 2 - 1

各施設の利用状況について

1. ホール機能 (1/4)

①市民会館ホール (930席)

■稼働状況

- コロナ前の3年とコロナ後を含む期間では、コロナ前の方がやや稼働率が高いものの大きな差はない
平日：32-33%、土日：67-70%
通年：42-44%
- 曜日毎では、週後半に向けて稼働が高まり、土日は平日の約2倍の稼働（67～71%と高稼働）
- R3はコロナ直後であるため、利用日数、稼働率ともに低いが、R4以降は、コロナ禍前の状況に戻っており、令和5年の利用日数は139日
- 平日と土日、曜日毎の稼働状況の傾向はどの年度も大きな違いはない

【稼働率】

	コロナ前 H29～R1	コロナ後含む H29～R5(*)
通年	44%	42%
平日	33%	32%
月	29%	28%
火	23%	20%
水	24%	27%
木	43%	39%
金	48%	47%
土日	70%	67%
土	69%	67%
日	71%	67%

(*)R2は除く

【利用日数・稼働率（経年）】

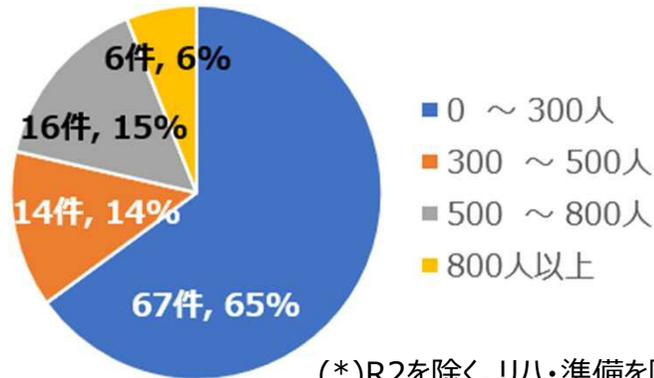
		H29	H30	H31(R1)	R3	R4	R5	平均
利用日数 (日)	通年	149	163	169	119	163	139	150
	平日	79	86	96	64	96	70	82
	月	13	14	19	10	14	11	14
	火	9	12	15	7	9	7	10
	水	12	11	14	13	24	9	14
	木	24	19	24	14	21	17	20
	金	21	30	24	20	28	26	25
	土日	70	77	73	55	67	69	69
	土	37	38	34	28	33	36	34
	日	33	39	39	27	34	33	34
稼働率	通年	40.8%	44.7%	46.3%	32.6%	44.7%	38.1%	41%
	平日	30.4%	33.1%	36.6%	24.5%	36.8%	26.9%	31%
	土日	66.7%	73.3%	70.2%	52.9%	64.4%	65.1%	65%

1. ホール機能 (2/4)

■ 利用状況 ～規模別

- 1回あたりのホール利用人数（準備・リハを除く）は、300人以下の利用が全体の65%、300～500人の利用は14%（→500人以下での利用は全体の79%を占める） ※下表赤枠
- 一方、500人以上による利用は平均22件/年、21%と少ない（下表赤枠）

【規模別利用者数（H29～R5平均）（*）】



利用人数	コロナ前(H29～R1)		コロナ後含む(H29～R5)	
	件数	比率	件数	比率
0 ～ 300人	62件	58%	67件	65%
300 ～ 500人	13件	12%	14件	14%
500 ～ 800人	22件	21%	16件	15%
800人以上	10件	9%	6件	6%

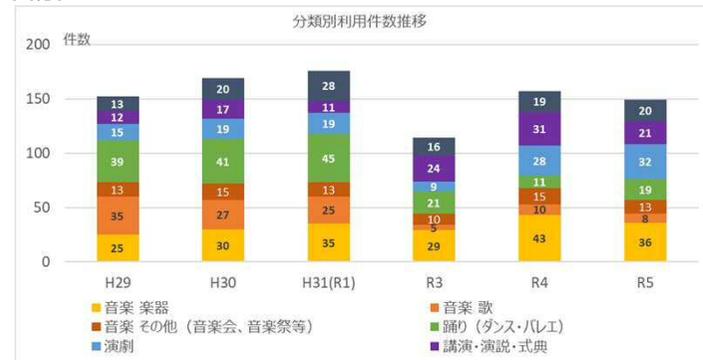
■ 利用状況 ～利用目的別

- 楽器（吹奏楽等）、歌（合唱・コーラス等）、音楽会等のイベントなど、音楽系の利用、特にする活動による利用が多い。H29以降の平均利用件数は、65件/年（全体の42%）

【利用目的別（H29～R5平均）】

分類	コロナ前(H29～R1)		コロナ後含む(H29～R5)	
	件数	比率	件数	比率
音楽	73	44%	65	42%
楽器	30	18%	33	22%
歌	29	18%	18	12%
音楽会、音楽祭等	14	8%	13	9%
演劇	42	25%	29	19%
踊り：ダンス・バレエ	18	11%	20	13%
講演・演説・式典	13	8%	19	13%
展示	0	0%	0	0%
その他	20	12%	19	13%

- コロナ前は音楽→踊り（ダンス・バレエ）の順で多かったが、コロナ以後（R3～）は踊りといった能動的な活動は減少している。一方、演劇、講演・演説・式典が増加



1. ホール機能 (3/4)

②文化ホール (508席)

■稼働状況 (H29-R5)

- ホールの稼働率 (通年) は約40% (コロナ前の3年とコロナ後を含む期間では大きな差はない)
- 曜日毎では、平日の稼働は14~56%である一方土日は74~82%と非常に高稼働。土日に本番を迎えるイベントが多いため、金・土にリハーサルや準備のための利用が増え、週後半に向けて稼働が高まっていると推察される

【稼働率】

	コロナ前 H29~R1	コロナ後含む H29~R5(*)
通年	44%	39%
平日	29%	24%
月	20%	19%
火	14%	14%
水	24%	17%
木	30%	30%
金	56%	41%
土日	83%	75%
土	84%	76%
日	82%	74%

(*)R2は除く

■利用件数 (H29-R5)

- コロナ後のR3年度は利用日数が減っているものの、コロナ前の3年とコロナ後を含む期間で利用件数の傾向に大きな差はない

【利用件数】

		H29	H30	H31(R1)	R3	R4	R5	平均
利用 日数 (日)	通年	172	173	142	45	80	133	124
	平日	82	85	60	19	38	58	57
	月	12	11	9	2	6	11	9
	火	6	12	4	2	6	4	6
	水	15	14	9	2	8	5	9
	木	18	18	11	6	8	14	13
	金	31	30	27	7	10	24	22
	土日	90	88	82	26	42	75	67
	土	48	44	40	15	19	38	34
	日	42	44	42	11	23	37	33
稼働 率	通年	47.1%	47.4%	38.9%	36.9%	44.0%	36.4%	42%
	平日	31.5%	32.7%	22.9%	21.8%	29.2%	22.3%	27%
	土日	85.7%	83.8%	78.8%	74.3%	80.8%	70.8%	79%

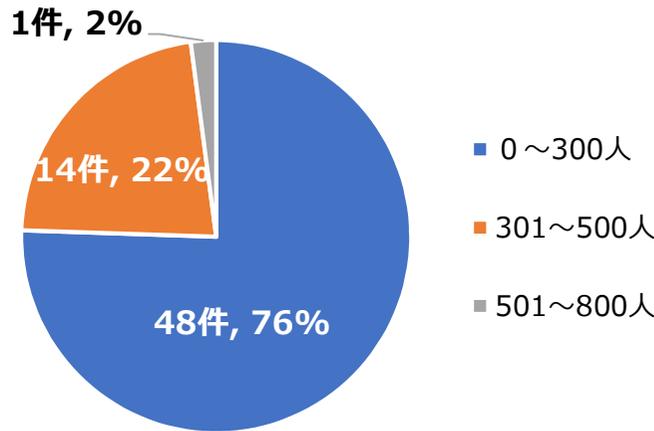
※令和3年8月1日~令和4年9月30日は天井改修工事に伴う利用停止期間。 4

1. ホール機能 (4/4)

■ 利用状況 ～利用人数別 (H29-R5)

- 利用人数が300人以下の利用は、年平均48件で、全体の76%を占めている。300～500人は14件、22% (下表赤枠)

【規模別利用者数 (H29～R5平均) (*)】



利用人数	コロナ前(H29～R1)		コロナ後含む (H29～R5)	
	件数	比率	件数	比率
0～300人	63件	73%	48件	76%
301～500人	21件	25%	14件	22%
501～800人	2件	2%	1件	2%

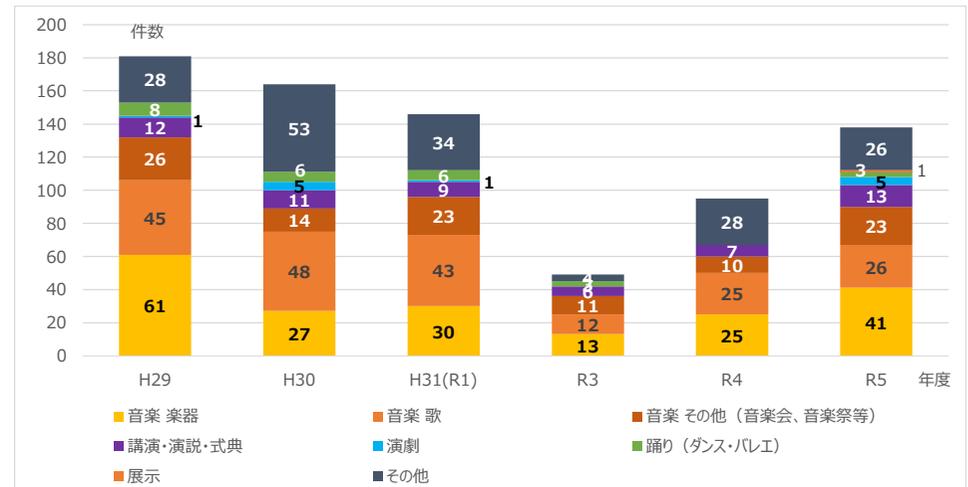
(*)R2～R3を除く。リハ・準備を除く

■ 利用状況 ～利用目的別

- 音楽（楽器、歌、音楽会等）の利用が過半数を占める。H29からの経年の傾向としては、コロナを境に多少の変動はあるものの、利用目的による大きな差異はない。

【利用目的別 (H29～R5平均)】

分類	コロナ前(H29～R1)		コロナ後含む(H29～R5)	
	件数	比率	件数	比率
音楽	317件	39%	186件	40%
楽器	118件	15%	79件	17%
歌	136件	17%	63件	13%
その他（音楽会、音楽祭等）	63件	8%	44件	9%
講演・演説・式典	32件	4%	26件	6%
踊り（ダンス・バレエ）	20件	2%	6件	1%
演劇	7件	1%	5件	1%
展示	0件	0%	1件	0%
その他	115件	14%	58件	12%



※令和3年8月1日～令和4年9月30日は天井改修工事に伴う利用停止期間。

2. 練習機能 (1/2)

文化センター練習室

■稼働状況 (H29～R5)

- ・ 曜日別・コマ別と練習室 1～3のうち、練習室 1 の稼働が高い（練習室 1 は他の諸室より広く、スペックがやや高い）
- ・ 時間帯別では、平日は夜間（18時～22時）、土日は午後（13時～17時）の利用が多い
- ・ 日曜日は、いずれの練習室、いずれの時間帯も土曜日より稼働が低い傾向にある（これは、練習室の防音性が低いため、ホールで本番を行っている際は練習室が使えないことによるものと思われる）
- ・ 曜日による偏りは、団体の活動日程によるところが多い

【参考】練習室概要

	定員	面積	設備等
練習室1	40名	111.3㎡	コンパクトグランドピアノ、譜面台、姿見 等
練習室2	30名	85.4㎡	アップライトピアノ、譜面台 等
練習室3	15名	40.5㎡	電子ピアノ 等

※時間帯の区分
 午前：9時～12時
 午後：13時～17時
 夜間：18時～22時

【平均稼働率】 *但し、R2～R3を除く

	コロナ前 (H29～R1)									コロナ後含む (H29～R5) *但し、R2-3は含まない								
	練習室 1			練習室 2			練習室 3			練習室 1			練習室 2			練習室 3		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
通年	46%	30%	52%	49%	30%	47%	49%	43%	52%	41%	29%	48%	35%	26%	42%	39%	40%	41%
月	64%	67%	44%	42%	47%	42%	78%	53%	53%	40%	47%	42%	28%	32%	37%	59%	49%	43%
火	8%	10%	17%	15%	11%	23%	29%	55%	43%	8%	18%	16%	11%	10%	18%	26%	48%	35%
水	46%	11%	83%	53%	30%	70%	63%	33%	59%	55%	10%	69%	31%	26%	67%	47%	30%	43%
木	86%	8%	80%	77%	13%	52%	30%	16%	51%	85%	10%	70%	51%	16%	37%	36%	20%	38%
金	17%	12%	67%	35%	11%	42%	70%	42%	61%	16%	12%	62%	21%	18%	51%	49%	43%	58%
土	58%	66%	41%	79%	61%	67%	33%	57%	62%	47%	63%	50%	74%	50%	59%	25%	50%	45%
日	32%	33%	24%	31%	35%	24%	34%	46%	32%	30%	38%	23%	22%	29%	17%	26%	42%	22%
平日	46%	22%	60%	46%	23%	47%	55%	39%	54%	43%	20%	53%	30%	21%	43%	44%	37%	44%
土日	45%	50%	33%	55%	48%	46%	33%	52%	47%	39%	50%	37%	48%	40%	38%	25%	46%	34%

2. 練習機能 (2/2)

■ 利用状況 ～利用目的別件数

- 音楽利用が最も多く、その中でも特に歌の利用が多く全体の42-43%を占める（合唱・コーラス、カラオケ等の団体による利用）
- 利用目的不明の276件（約30%）には、個人名による予約も多く含まれており、個人練習による利用も想定される
- その他、フィットネス（体操）、踊り（ダンス・バレエ）等の団体利用があるが、姿見は練習室1のみにあり、設備が利用にマッチしていない可能性も想定される

【利用目的別件数（コロナ前・コロナ後含む）】

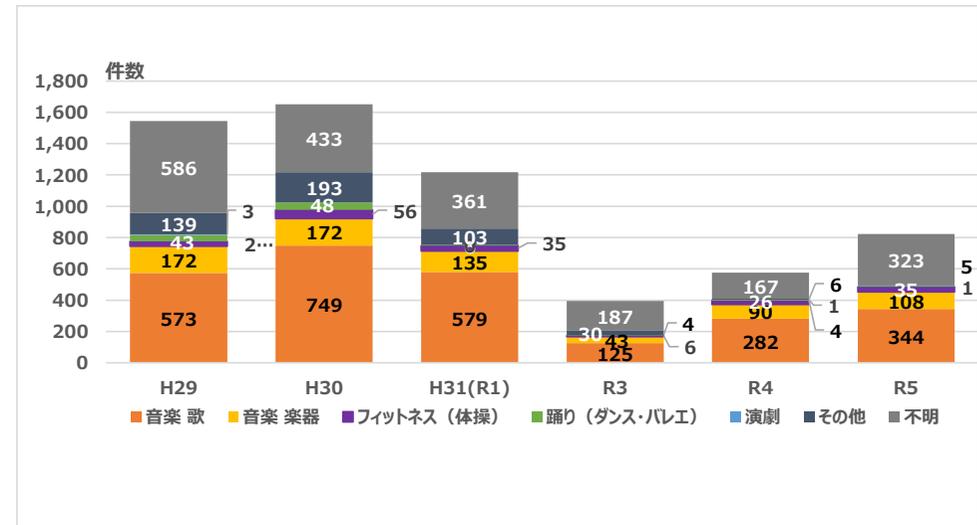
利用目的	コロナ前(H29-R1)		コロナ後含む(H29-R5)	
	件数	比率	件数	比率
音楽	476	54%	307	54%
歌	380	43%	241	42%
楽器	96	11%	65	12%
フィットネス（体操）	24	3%	17	3%
踊り（ダンス・バレエ）	19	2%	10	2%
演劇	1	0%	0	0%
展示	5	1%	3	1%
その他	87	10%	43	8%
不明	276	31%	187	33%
合計	888	100%	568	100%

※利用目的が不明なものも多く、上記は目的が確認（もしくは利用者情報から推測）できた実績を整理したもの

■ 利用状況 ～年度別・利用目的別件数

- コロナ後、徐々に利用件数は増えてきているが、依然コロナ前の半分程度
- 全体の利用内容に対する各利用目的の比率は毎年概ね同じで、目的別の利用傾向は変わらない

【利用目的別件数（H29～R5）】



3. 展示機能

■ 鳥取市美術展の開催状況

- 市美術展では、出展作品のうち審査を通過した入選作品を県立博物館にて展示しており、R3年度以降はそのうちの入賞作品をやまびこ館にて展示している
- 例年県立博物館の第1特別展示室（515㎡）及び第2特別展示室（515㎡）にて、約300点の作品を展示
- 鑑賞者数は、各会場1,000～2,000人であるが、R3年には第60回目を記念した企画展がやまびこ館で開催され、約4,500人の鑑賞者が訪れた

【鳥取市美術展の開催状況（H30～R6）】

年度	開催期間	場所	展示作品数（点）	出品者数（人）	鑑賞者数（人）
H30（第57回）	5/13(日)～5/20(日)	県立博物館(515㎡+515㎡)	290	275	-
H31（R1）（第58回）	6/2(日)～6/9(日)	県立博物館(515㎡+515㎡)	301	290	-
R2（第59回）	新型コロナウイルスの影響により中止				
R3（第60回）	5/23(日)～5/30(日)	県立博物館(515㎡+515㎡)	272	258	2,172
	企画展 5/22(土)～7/4(日)	やまびこ館（280㎡）	64	-	4,539
R4（第61回）	5/29(日)～6/5(日)	県立博物館(515㎡+515㎡)	282	273	2,020
	受賞作品展 6/11(土)～7/3(日)	やまびこ館（280㎡）	28	-	1,168
R5（第62回）	5/28(日)～6/4(日)	県立博物館(515㎡+515㎡)	277	261	2,065
	受賞作品展 6/10(土)～7/9(日)	やまびこ館（280㎡）	34	-	1,803
R6（第63回）	6/2(日)～6/9(日)	県立博物館(515㎡+515㎡)	268	255	1,897
	受賞作品展 6/15(土)～7/7(日)	やまびこ館（280㎡）	31	-	1,314

※令和3年以降、出品資格を鳥取県東部在住者から麒麟のまち圏域在住者に拡大

市民会館ととりぎん文化会館の主な興行の状況（1/3）

①市民会館 ～大ホール - 1000席

- ✓ 直近3年間（R3-R5）の利用実績から、主な興行系（興行の可能性のあるもの）の演目を抽出
- ✓ プロモーターによるツアー・コンサートや放送局による小劇場が興行系の演目として開催されており、頻度は年1-2回（黄色網掛け）。そのうち、1,000人規模（800人以上）の行事は過去3年で3件となっている。

令和3年度～5年度における主な興行系の演目

単位：人（赤字：800人以上）

年度	月	日	曜	行事名	主催者	利用者数
R3	6	6	日	「エンディングノート」上映会	鳥取市民会館	271
	10	2	土	エレクtoonフェスティバル2021	アコヤ楽器店	300
	10	3	日	エレクtoonフェスティバル2021	アコヤ楽器店	350
	10	24	日	自主事業 劇団民藝「野の花ものがたり」	鳥取市民会館	782
	11	13	土	DRUM TAO 2021	キャンディープロモーション	299
	11	23	火	映画「ずぶぬれて犬ころ」上映会	市民会館	103
R4	4	10	日	映画「ふたりの桃源郷」上映会	クララとクロダのひよこりシネマ	214
	5	22	日	クララとクロダのひよこりシネマ「人生をしまう時間」上映会	鳥取市民会館	254
	6	29	水	おべらーず☆コンサート	EN+ER企画	150
	8	11	木	谷口ジロー作品映画「神々の山嶺」特別上映会	鳥取市民会館	239
	10	8	土	鳥取市民会館共催事業 ジャグリング創作集団「空軌道」音と空間のジャグリング	鳥取市民会館	250
	11	9	水	グランプリコンサート2023代替え公演 打楽器集団「男群」	鳥取市民会館	150
	11	20	日	鳥取夢街コンサート2022	鳥取夢街コンサート実行委員会	460
	12	11	日	寺内智子&中原美幸ソプラノジョイントコンサート	EN+ER企画	67
	12	14	水	弦楽六重奏コンサート	梨strings	40
	12	25	日	クリスマス・イベント	鳥取シティバレエ	50
	2	18	土	令和4年度 鳥取市民会館自主事業 宝くじ文化公演「ミュージズの囁き」	鳥取市民会館	755
	2	19	日	清塚信也47都道府県ツアー	夢番地	930
	3	23	木	橋幸夫コンサート	夢グループ	327
R5	6	24	土	おかあさんといっしょ宅配便「ファンターネ！小劇場」	NHK鳥取放送局	1,150
	11	5	日	「バレエ・ガラ」	鳥取市民会館	600
	11	19	日	ゴスペラーズ坂ツアー-2023“HERE&NOW”	鳥取市民会館	800

※プロモーターによるコンサート・ツアーや、一般向けにチケットを販売しているイベント等を興行利用として抽出

※年間利用件数： R3年度-69件（うち、興行系6件）、R4年度-94件（うち、興行系13件）、R5年度-81件（うち、興行系は3件）

※黄色ハイライトはプロモーターや放送局によるツアー・コンサート・小劇場

市民会館ととりぎん文化会館の主な興行の状況（2/3）

②とりぎん文化会館 ～梨花ホール（2000席）（1/2）

- ✓ 公式HP「イベント実績」、「事業報告書」、「イベント実施状況」より、主な興行系の演目を抽出
- ✓ 令和5年度の1年間だけみても、複数のツアー・コンサートや公演が開催されており、1,000人規模（800人以上）の行事は、利用者が判明しているものだけでも6件あり、大規模な興行イベントに利用されていることが確認できる

令和5年度における主な興行系の演目

単位：人（赤字：800人以上）

年度	月	日	曜	行事名	主催者	利用者数
R5	5	10	水	鳥取県東部中小企業青年中央会 田村淳氏講演会×鳥取 『即動力』これからの時代を生き抜くための即動力	鳥取県東部中小企業青年中央会	不明
	6	4	日	第59回サマープラスコンサート	鳥取県吹奏楽連盟	不明
	6	18	日	東京シティ・フィルのドラゴンクエスト すぎやまこういち 交響組曲「ドラゴンクエストV」天空の花嫁	(公社) 日本オーケストラ連盟、 (一社) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	988
	7	15	土	八代亜紀 コンサート	一般財団法人民主音楽協会	不明
	7	22	土	JUJUジュジュ苑スペシャル「スナック JUJU 2023」～47都道府県出店!!“あのママ”がJUJU20周年を勝手に前祝い全国ツアー～	YUMEBANCHI	不明
	8	6	日	東京バレエ団 子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」	公益財団法人鳥取県文化振興財団、 公益社団法人全国公立文化施設協会、 とりぎん文化会館	782
	8	12	土	梨花ホール レクチャーコンサートシリーズvol.5「みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート」	とりぎん文化会館	111
	10	3	火	サラ・オレイン トリオ2023	民音中国センター	不明
	10	20	金	アートキャラバン2023 総合劇集団俳優館「あらしのよるに」公演	鳥取おやこ劇場	不明
	10	22	日	第44回鳥取市交響楽団定期演奏会	鳥取市交響楽団	不明
	11	3	金	とっとりチェンバーオーケストラ 第4回弦楽アンサンブルコンサート	(公財)鳥取県文化振興財団	536
	11	5	日	MUSIC ENCOUNTER 木嶋真優ヴァイオリンコンサート×とっとりスーパープラス	共同主催：(公財)長谷育英奨学会、 (公財)鳥取県文化振興財団	1,040
	11	23	木	スターダスト☆レビュー ツアー 2022～24「ブギウギワンダー☆レビュー」	キャンディープロモーション岡山	不明
	11	28	火	劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」	新日本海新聞社	1,745

市民会館ととりぎん文化会館の主な興行の状況（3/3）

②とりぎん文化会館 ～梨花ホール（2000席）（2/2）

- ✓ 公式HP「イベント実績」、「事業報告書」、「イベント実施状況」より、主な興行系の演目を抽出
- ✓ 令和5年度の1年間だけみても、複数のツアー・コンサートや公演が開催されており、1,000人規模（800人以上）の行事は、利用者が判明しているものだけでも6件あり、大規模な興行イベントに利用されていることが確認できる

令和5年度における主な興行系の演目

単位：人（赤字：800人以上）

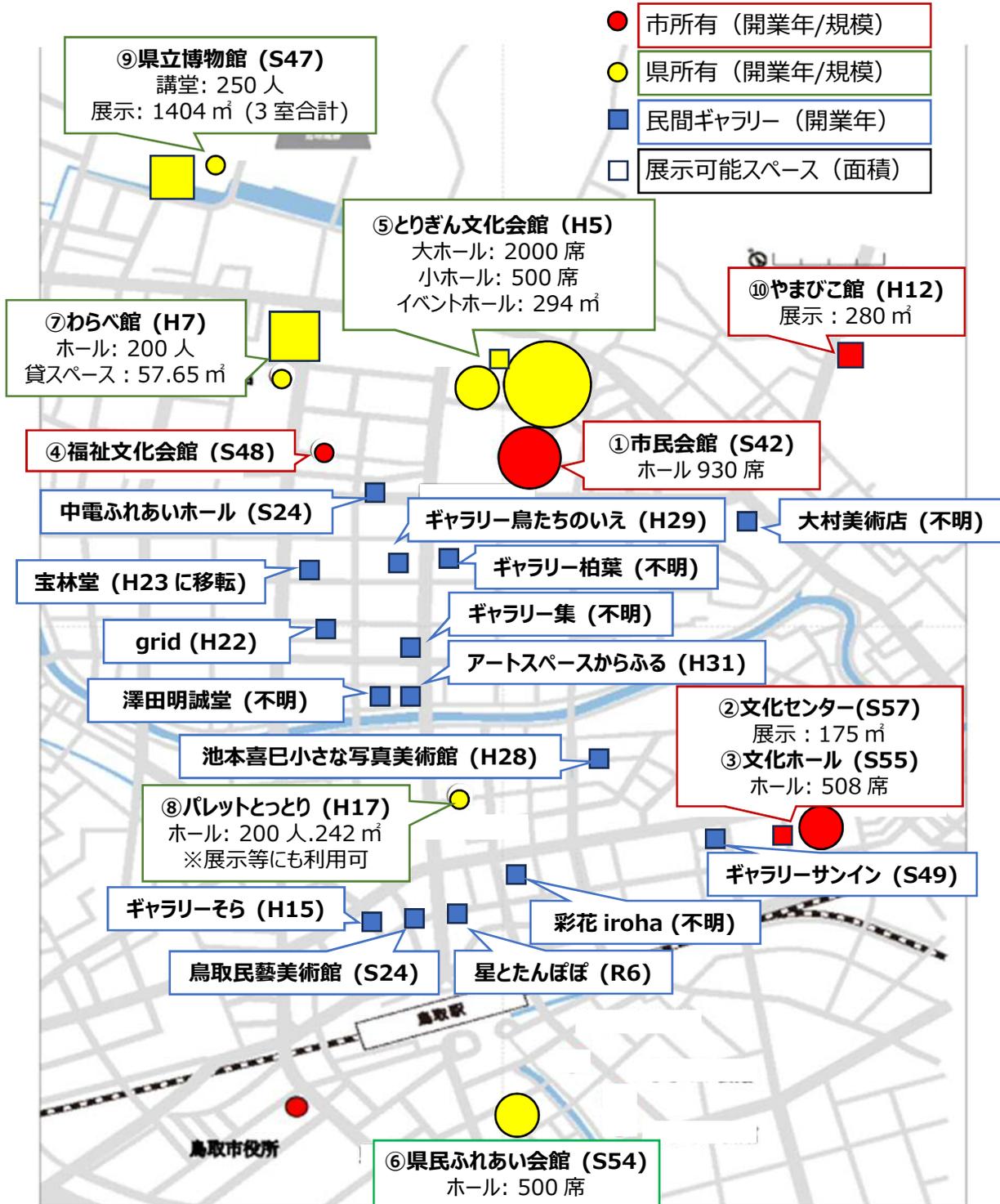
年度	月	日	曜	行事名	主催者	利用者数
	12	10	日	第36回県民による第九鳥取公演	県民による第九鳥取公演推進委員会	1,062
	12	24	日	合唱団優喜 Christmas Concert 2023	合唱団優喜	不明
	1	6	土	日本全国能楽キャラバン！ in 鳥取	(公社) 能楽協会、(公社) 京都観世会	515
	1	14	日	2023 グランドオペラフェスティバル in Japan - 東京二期会オペラ ヴェルディ「椿姫」	(公財) 東京二期会	660
	2	23	金	ayumi hamasaki 25th Anniversary Live Tour	株式会社キャンディープロモーション	不明
	3	3	日	MANSAI CREATION BOX with オーケストラ・アンサンブル金沢 鳥取公演	(公財) 鳥取県文化振興財団	1,165
	3	26	火	サーカス～心をつなぐハーモニー～	一般財団法人民主音楽協会中国センター	不明
	3	27	水	熱男のこぼ～球界最高のモチベーターが実践する究極のポジティブマインド～	鳥取県東部中小企業青年中央会	不明
	3	29	金	辻井伸行×三浦文彰 ニール・トムソン指揮 読売日本交響楽団究極の協奏曲コンサート	日本海テレビ/エイベックス・クラシックス・インターナショナル/サンライズプロモーション東京	1,908

※プロモーターによるコンサート・ツアーや、一般向けにチケットを販売しているイベント等を興行利用として抽出
 ※年間利用件数： R5年度 - 39件（公式HP「イベントスケジュール」に記載されている件数。そのうち興行系は23件）
 ※黄色ハイライトはプロモーターや放送局によるツアー・コンサート・小劇場

出典：公式HP「イベント実績」、「事業報告書」、「イベント実施状況」

中心拠点における文化施設の状況

1. 市内の文化施設



2 施設の概要

①市民会館

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市掛出町 12 番地	
施設概要	敷地面積：4,137 m ² 、延床面積：3,672 m ²	
構成機能	ホール(930 席)、大会議室、小会議室、控室 ほか	
	○大ホールのスペック 【舞台】間口 18.8m、奥行 9.7m、高さ 7m 【花道】幅 2m、長さ 4.4m 【搬入口】間口 3m、高さ 2.4m 【客席】1 階：355 席 ※前 2 列（中央は 3 列）取外し可 2 階：325 席 3 階：250 席 車椅子席：3 席	
指定管理者	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会	

【利用状況】

	H27	H28	H29	H30	R1
利用人数（人）	64,420	57,257	51,745	60,210	66,074

(R1)	大ホール	控室 1	控室 2	控室 3	大会議室	小会議室	控室	ホワイエ	文化サロン
稼働率（%）	51.6%	32.0%	26.6%	64.3%	70.1%	45.3%	44.9%	2.3%	2.5%

【ハード面の課題】

- 施設・設備に関する主な課題は下表のとおり。なお、平成 22 年度に耐震性強化、客席・客席照明の取替え、舞台吊物・舞台搬入口等の大規模な改修を実施

建物等	<ul style="list-style-type: none"> 地下床面劣化、及び屋上防水劣化により雨漏りが発生 エレベーターは未設置。2 階席、3 階席、舞台袖への移動手段は階段のみ 舞台及び舞台袖やホワイエが狭い、駐車場が不足（63 台うちハートフル 4 台） 構造上、大ホールの使用時に他の団体の会議室等使用が不可 大型搬入車両は、国道から施設横まで 長い距離を後進する必要あり
設備等	<ul style="list-style-type: none"> 大ホール・ホワイエの空調、漏電防止遮断機、高圧変圧施設、非常用設備等が老朽化。空調の温度設定が不可。冷凍機は製造終了したフロンガスを使用 舞台の天井反射板変角装置、スクリーン、各種幕、吊物等が老朽化 舞台床下は地盤沈下への対応としてジャッキアップしており、耐荷重に限度があるほか、床材の劣化への対応として過去 2 回研磨しており、これ以上研磨ができない 加圧給水ポンプがないため、水の安定供給ができない トイレの絶対数が不足（23 基）。洋式化も未完了（14 基が和式）

（出典：HP、基本方針から作成）

②文化センター

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市吉方温泉三丁目 701 番地	
施設概要	敷地面積：7,371 m ² （文化ホール含む） 延床面積：6,098 m ² （文化ホール含む）	
構成機能	①鳥取市生涯学習センター 大会議室、展示ホール、多目的室、会議室 5、託児室 ②鳥取市こども科学館 科学館ギャラリー、展示スペース、工作室、陶芸室、パソコン室 ③鳥取市視聴覚ライブラリー	
指定管理者	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会	

【利用状況】

	H27	H28	H29	H30	R1
利用人数（人）	56,122	65,241	73,105	66,402	45,682

(R1)	会議室 1	会議室 2	会議室 3	大会議室	文化活動 ブース	託児室	展示ホール
稼働率（%）	67.1%	44.6%	81.1%	51.5%	39.6%	30.1%	38.4%

【ハード面の課題】

- 施設・設備に関する主な課題は下表のとおり。なお、平成 14 年度に外壁タイル改修工事、平成 17 年度に建築・機械・電気に係る改修工事、H21 年に屋上消火用補給水槽改修工事、平成 25 年度に内地地盤補強工事・事務所系統空冷ヒートポンプチラー圧縮機整備、H30 年度・令和 2 年度に空調設備改修（建築・機械・電気）工事を実施

建物等	<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水劣化、外壁サッシシーリングの劣化により雨漏りが発生。 外壁が劣化。崩落のおそれあり。※過去に崩落あり 正面入口ポーチと土間の磁器タイルなどが破損 駐車場が不足（87 台第 1 駐車場 31 台うちハートフル 3 台、第 2 駐車場 56 台うちハートフル 2 台） 駐輪場施設が劣化
設備等	<ul style="list-style-type: none"> トイレの洋式化が未完了（21 基中 9 基が和式） 非常用発電機、エレベーターが老朽化。エレベーターは部品生産終了

（出典：HP、基本方針から作成）

③文化ホール

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市吉方温泉三丁目 701 番地	
施設概要	敷地面積：3,639 m ² 、延床面積：2,487 m ²	
構成機能	<p>ホール(508 席)、練習室 3、控室 3 ほか</p> <p>○ホールのスペック 【舞台】間口 15.5m、奥行 11m、高さ 6m 【搬入口】間口 3m、高さ 5m 【床面積】 416.5 m² 【座席】固定：508 席、身障者席：5 席 (立見：76 人)</p> <p>○練習室のスペック 練習室①：113 m²、定員 40 名、練習室②；85.4 m²、 定員 30 名、練習室③：40.5 m²、定員 15 名 ※練習室①の設備： 姿見 譜面台 ホワイトボード 長机 パイプ椅子 空気清浄機 除湿器 コンパクトグランドピアノ (料金別)</p>	
指定管理者	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会	



【利用状況】

	H27	H28	H29	H30	R1
利用人数 (人)	46,693	48,163	42,985	46,346	41,109

(H30)	ホール	練習室 1	練習室 2	練習室 3
稼働率 (%)	53.1%	76.1%	70.9%	87.3%

【ハード面の課題】

- 施設・設備に関する主な課題は下表のとおり。なお、平成 27 年度にトランス取替修繕、令和 3 年度に吊天井耐震改修（建築・機械・電気）を実施

建物等	<ul style="list-style-type: none"> 外壁が劣化。崩落のおそれあり エレベーターは未設置。地下 1 階練習室、2 階席への移動手段は階段のみ 舞台、舞台袖、ホワイエが狭い 内外壁、床面（ステージ含む）等に亀裂あり 近隣住民から騒音に関する苦情あり
設備等	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備が老朽化。空調は温度設定不可。冷凍機は製造終了したフロンガスを使用 舞台照明設備が老朽化。照明操作卓はデジタルに更新したが、配電はアナログのまま 調光装置は演出ごとに手作業による設定変更が必要のため、長時間の準備作業を要する。近年ではデジタル化が進んでいるため、主催者によっては使用方法が分からない 主催者が記録した舞台設定を、USB 等の外部媒体により反映することができない 楽屋とホールの空調設備が一体となっているため、冷暖房の単独利用ができない トイレの洋式化が未完了（20 基中 11 基が和式）

(出典：HP、基本方針から作成)

④福祉文化会館

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市西町二丁目 311 番地	
施設概要	敷地面積：1,551 m ² 、延床面積：4,021 m ²	
構成機能	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室 5 ・市文化センターサテライトオフィス：小研修室、研修室 3、学習ルーム、調理室、託児室 	
指定管理者	直営	

【利用状況】

	H27	H28	H29	H30	R1
利用人数（人）	35,022	27,944	39,804	25,953	30,713

(H30)	2 F 会議室	3 F - 1 会議室	3 F - 2 会議室	3 F - 3 会議室	4 F - 1 会議室	4 F - 2 会議室
稼働率（%）	28.0%	23.0%	21.0%	3.0%	15.3%	18.1%

【ハード面の課題】

建物等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震性能が満たされていないため、改修が必要 ・ 外壁コーキングの劣化により雨漏りが発生 ・ 外装が劣化（外壁コンクリート、塗装関係、屋上ペントハウス） ・ 内装が劣化（床リノシート、アスベスト含有タイル）
設備等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常用発電機、避難用誘導灯、エレベーター、高圧変圧施設が老朽化。エレベーター部品は供給終了 ・ トイレの洋式化が未完了（22 基中 18 基が和式）

（出典：HP、基本方針から作成）

⑤とりぎん文化会館（梨花ホール・小ホール）

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市尚徳町 101-5	
設概要	敷地面積：32,056 m ² 、延床面積：19,515 m ²	
機能	<p>梨花ホール(2,000 席)、小ホール(500 席)、リハーサル室、練習室 4、展示室、会議室 8、フリースペース ほか</p> <p>○梨花ホールのスペック 【舞台】 横幅 51.8m × 奥行 23m 【プロセニウム】 間口 20m、高さ 14~10m 【客席】 1階：1,294 席(+車椅子 10 席)※オーケストラピット使用時は 156 席減 2階：316 席 3階：380 席 (3 階を閉鎖し、1,620 席として使用可)</p> <p>○小ホールのスペック 【舞台】 横幅 20.8m × 奥行 6m 【プロセニウム】 間口 11.6m × 高さ 5.4m 【稼働舞台】 6 面 (28.5 m² × 1 面、20.0 m² × 2 面、15.0 m² × 3 面) 【客席】 スタッキング椅子：374 席 電動式可動椅子：126 席</p>	
指定管理者	一般財団法人鳥取県文化振興財団	



【利用状況】

利用人数 (人)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
梨花ホール	102,216	104,621	122,819	115,375	118,905	98,792	13,891	50,673	71,681	71,668
小ホール	42,171	33,929	38,808	37,703	38,390	31,682	11,098	13,905	19,688	27,220

稼働率 (%)	R1	R2	R3
梨花ホール	51.2%	43.8%	55.7%
小ホール	63.4%	54.1%	49.8%

(出典：HP、利用実績 (鳥取市提供) から作成)

⑥ 県民ふれあい会館（ホール）

【基本情報】

所在地	鳥取市扇町 21 番地	
施設概要	敷地面積：4,271 m ² （県有地）	
構成機能	ホール、会議室、資料室、研修室、講義室 ほか	
	<p>○ホールのスペック</p> <p>【最大席数】487 席（内車椅子席 3 席）</p> <p>【間口】14.0m</p> <p>【奥行】5.5m</p> <p>【高さ】5.1m</p> <p>【面積】548.39 m²</p>	
指定管理者	公益財団法人鳥取県教育文化財団	

【利用状況】

	H31(R1)	R2	R3	R4	R5
利用人数	8,340 人	756 人	4,339 人	5,607 人	4,422 人
利用件数	63 件	8 件	53 件	68 件	53 件
稼働率	22%	6%	20%	25%	22%

（出典：HP、利用実績（鳥取市提供）から作成）

⑦わらべ館（ホール）

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市西町3丁目202	
施設概要	建築面積：2,253㎡、延床面積：5,923㎡、 展示面積：943㎡	
構成機能	展示部屋（童謡の部屋、おもちゃの部屋）、イベントホール ほか	
	<p>○イベントホールのスペック</p> <p>【最大席数】200席（可動式席）</p> <p>【ホール（ステージ除く）】縦9.5m × 幅13.5m</p> <p>【ステージ】縦3.3m × 幅8.0m（いずれも最大箇所の寸法）</p> <p>【面積】57.65㎡</p>	
指定管理者	公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館	

【利用状況】

	R2	R3
開館日数（日）	280	350
利用日数（日）	136	177
利用率（%）	48.6%	50.6%

（出典：HP等から作成）

⑧パレットとっとり（市民交流ホール）

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市弥生町 323-1	
施設概要	延床面積：2,526 m ² 、	
構成機能	市民交流ホール、商業テナント（飲食店、リラクゼーション等）ほか	
	<p>○イベントホールのスペック 【最大利用人数】 200 人 【ホール】 242 m² （半分に区切ることができ、会議・展示会・音楽会等多目的に利用可能。利用内容に合わせてレイアウトが可能）</p>	
施設管理者	鳥取商工会議所（指定管理ではない）	

【利用状況】

	R2	R3
開館日数（日）	280	350
利用日数（日）	136	177
利用率（%）	48.6%	50.6%

（出典：HP 等から作成）

⑨ 県立博物館

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市東町二丁目 124 番地	
施設概要	敷地面積：14,654 m ² 延床面積：9,699 m ²	
構成機能	特別展示室、自然展示室、歴史・民俗展示室、講堂、臨時収蔵庫、史料閲覧室ほか ○講堂 【面積】206 m ² 【定員】250 名 ○展示室 【面積】 第1展示室：515 m ² 第2展示室：515 m ² 第3展示室：374 m ²	
指定管理者	直営	

【利用状況（展示室）】

※鳥取県主催、鳥取市主催のものを除く、鳥取県立博物館展示室の貸館実績

利用件数（件）	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
第1展示室	2	3	0	4	1	2	2	0	2	2
第2展示室	1	4	1	5	1	2	2	0	2	1
第3展示室	1	0	2	3	2	1	0	1	2	1

出典：HP、貸館実績（鳥取市から受領）から作成

⑩やまびこ館

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市上町 88		
施設概要	延床面積：4,007 m ² 、展示面積：775 m ²		
構成機能	展示室、特別展示室、研修室、ミュージアムショップ、喫茶コーナー ほか		
	○特別展示室 【面積】280 m ² 【収容人員】最大 120 名程度 【貸出備品】展示ケース、展示用備品、机、椅子		
指定管理者	公益財団法人鳥取市文化財団		

【利用状況（鳥取市歴史博物館）】

年度	R3	R4	R5
入館者数	29,157 人	27,878 人	26,227 人
研修室	7,805 人	39 人	84 人

【参考 R5 年度の常設展企画展・実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
来館者数（人） （常設展）	1,801	2,015	1,099	3,347	6,476	1,786	3,353	3,646	1,541	937	1,232	1,728	28,961
来館者数（人） （企画展）	0	0	0	8,880	14,851	0	2,315	2,151	2,116	0	1,704	1,518	33,535
貸館利用者数 （人）	0	1,249	2,845	432	2	783	439	179	252	735	15	1,228	8,159

（出典：HP、事業評価書等から作成）

既存利用者のニーズ（利用団体のヒアリング結果）

現在施設を利用している人たちの課題やニーズを把握するため、ヒアリングを行った。示された意見は以下のとおり（ハード面に関する事項を中心に抜粋）

なお、演劇・踊り関係の関係者には現在、ヒアリングを調整中

施設全般	<ul style="list-style-type: none"> • いずれの施設も老朽化しており、設備や防音性、控室の不足が課題となり、十分に利用できていない。 • 階段が急で危険。客席に車いすスペースはあるが、舞台へのバリアフリー導線はない。 • いずれの施設も駐車場不足で、集客にも影響が出ている。
ホール機能	<ul style="list-style-type: none"> • いずれの施設も音響環境が十分でない。専門的音響環境の整ったシューボックス型の小規模ホールの整備を要望する。規模は、300席程度であると興行利用の際に採算が取れないため、300～500席規模のホールが良い。 • 吹奏楽：学校の楽器も更新されなくなっており、将来的には学校単位ではなく地域で活動することになってくるのではないかと。
展示機能	<ul style="list-style-type: none"> • 美術館：鳥取市では市立美術館が存在しない。子どもたちへの文化教育を根付かせるためにも、単なるギャラリーではない『美術館』を整備すべきと考える。特に収蔵庫の整備が喫緊の課題と感じており、作品を評価できる学芸員の確保とあわせて整備を行っていく必要がある。 • 展示：市内で市展（300点程度）を開催できる場所が必要。現在は市博物館を利用しているが、枠が限られている。 • 書道：天井高2.5m必要。 • 茶道：専用の設えがなくてもよいが、水道施設が必須。 • 華道：花材のための水が必要。
練習室機能	<ul style="list-style-type: none"> • 音楽：練習室をより小規模なコンサートにも利用できるようにしてほしい。

プロモーターヒアリングの結果

全国のホール・劇場にてコンサートの企画等を行っているプロモーターにヒアリングを行い、鳥取における興行のポテンシャル、ホール機能等に関して確認を行った。示された意見は以下のとおり。

興行のポテンシャルについて	A社	<ul style="list-style-type: none"> 市内ではとりぎん文化会館でのコンサートの企画・実施の経験もあるが、立地柄集客に大変苦戦している。 全国ツアー公演を行う場合、中国地方では岡山や広島が開催地として選ばれることが多い。集客が見込める公演の場合、岡山・広島の前線で鳥取にツアーが回ってくることもあるが、週末は岡山や広島がメインとなるため、鳥取公演は平日になってしまう。そうすると余計に集客が難しくなるというのが実態。
	B社	<ul style="list-style-type: none"> 興行目線で考えると相当に厳しいエリア。人口も少なく、アクセス性も必ずしも良くないため、市外・県外からの集客を見込むのも難しい。 人気のある公演には遠くても足を運ぶ観客もいるものの、それくらいの公演になるとツアーの規模も大きくなり、近隣県の規模の大きな施設で開催される。 ポテンシャルや実際の利用回数を考えると、市内で開催する場合はとりぎん文化会館を利用するのが現実的。
ホールの条件について	A社	<ul style="list-style-type: none"> 海外オーケストラなど大人数のオーケストラを招聘する場合は、採算性の観点から1,500席以上の規模で開催することが必要になるが、奏者が20-30人のコンサートやバレエ公演の場合、500席規模のホールで開催することもある（500人がギリギリのライン）。
	B社	<ul style="list-style-type: none"> ポップスやミュージカルなど、公演として回せる（事業性を確保できる）ことを考えると、1,500席以上は必要。鳥取はとりぎん文化会館があるのでそちらで対応ができる。

A社：バレエ・オペラ等のクラシック専門のプロモーター

B社：幅広い興行を取り扱っている全国区のプロモーター

資料 2 - 5

国・市の施策、将来動向について

1. 国・市の施策について

①-1 文化庁：文化芸術推進基本計画(第2期) ～価値創造と社会・経済の活性化 (1/2)

- ✓ 国では、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「文化芸術推進基本計画」を策定
- ✓ 今後5年間(令和5年度～令和9年度)において推進する7つの重点取組、16の施策群を設定、取り組みを推進

<前文の概要>

- 文化芸術は、**人々の創造性を育み、豊かな人間性を涵養するとともに、人々の心のつながりを強め、心豊かで多様性と活力のある社会を形成する源泉。**
- 我が国には、**各地に魅力的な有形・無形の文化財が数多く存在し、雅楽・能楽・文楽・歌舞伎・組踊等の伝統芸能の上演が行われるなど、長い歴史を通じて地道な努力により今日まで受け継がれてきた誇るべき価値を有する。**
- 現代の美術・音楽・演劇・舞踊等の芸術、映画・マンガ・アニメーション・ゲームといったメディア芸術、和食・日本酒等の食文化を含む生活文化、建築・ファッションなどは、世代を問わず人々の心を捉え、デジタル技術を芸術活動に活用するデジタル芸術というべき試みも多く生まれつつあり、我が国の**文化芸術の幅の広さ、奥深さ、質の高さ**を示している。
- 新型コロナの感染拡大が、人々の身体的な接触を妨げ、心理的な距離も生じさせるなど多くの人々に行動変容を迫る困難にあって、**文化芸術は、人々に安らぎ、勇気、希望を与えるという本質的価値が改めて認識され、その灯を消さぬよう次世代への継承の努力が継続。**
- また、文化芸術は、観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等との緊密な連携の下、デジタル化等の技術革新を取り入れながら、**創造的な社会・経済活動の源泉として新たな価値や収益を生み、それが本質的価値の向上のために再投資される好循環を通じて、我が国の発展に寄与。**
- 国際的にも多様性、包摂性、持続可能性をキーワードに、地球規模の課題の解決に向けた動きが活発化する中、**人々のウェルビーイングの向上を図るためにも、文化芸術が果たすべき役割が増大。**

①-2 文化庁：文化芸術推進基本計画(第2期) ～価値創造と社会・経済の活性化 (2/2)

＜文化芸術政策の中長期目標＞

中長期目標① 文化芸術の創造・発展・継承と教育・参加機会の提供

- 文化芸術の創造・発展、次世代への継承が確実に行われ、全ての人々に充実した文化芸術教育と文化芸術活動の参加機会が提供されていることを目指す。

中長期目標② 創造的で活力ある社会の形成

- 文化芸術に効果的な投資が行われ、イノベーションが生まれるとともに、文化芸術の国際交流・発信を通じて国家ブランドの形成に貢献し、創造的で活力ある社会が形成されていることを目指す。

中長期目標③ 心豊かで多様性のある社会の形成

- あらゆる人々が文化芸術を通して社会に参画し相互理解が広がり、多様な価値観が尊重され、心豊かな社会が形成されていることを目指す。

中長期目標④ 持続可能で回復力のある地域における文化コミュニティの形成

- 地域の文化芸術を推進するためのプラットフォームが全国各地に形成され、多様な人材や文化芸術団体・諸機関が連携・協働し、持続可能で回復力のある地域における文化コミュニティが形成されていることを目指す

＜第2期計画における重点取組＞

1. ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進

- 文化芸術水準の向上
- 文化芸術分野の活動基盤強化
- 文化芸術団体等の自律的・持続的な発展に資する支援の実施
- 文化芸術創造エコシステムの確立 など

2. 文化資源の保存と活用の一層の促進

- 「文化財の匠プロジェクト」の着実な推進 など

3. 文化芸術を通じた次代を担う子供たちの育成

- 学校における文化芸術教育の充実・改善と我が国の伝統文化の継承
- 子供たちが、文化芸術・伝統芸能等の本物に触れることができる鑑賞・体験機会の確保
- 文化部活動の円滑な地域連携・移行の促進

4. 多様性を尊重した文化芸術の振興

- 性別、年齢、障害の有無や国籍等にかかわらず活動できる環境整備
- 共生社会の実現に向けた障害者等による文化芸術活動への参画の促進 など

5. 文化芸術のグローバル展開の加速

- トップアーティスト等のグローバルな活動の支援を含む戦略的な文化芸術の海外発信など

6. 文化芸術を通じた地方創生の推進

- 全国の劇場・音楽堂等の機能強化・設備整備の促進
- 地方における文化芸術公演の積極的な展開の支援
- 地域における文化芸術振興を推進する人材の育成と体制の整備・構築 など

7. 文化芸術のグローバル展開の加速

- デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進
- 急速に進化するデジタル技術を活用した文化芸術活動の推進 等

②-1 鳥取市文化芸術振興に関する基本方針

「文化芸術の薫りあふれるまち 鳥取市」の実現をめざし、以下の施策を総合的に推進します。

1 文化芸術に対する意向けた機運や郷土愛を醸成するため、民の文化芸術に対する識の高揚に関すること

地域の文化芸術振興に関心の喚起や意識の高揚に努めます。

- (1)市民などによる文化芸術活動の尊重・推奨に努めます。
- (2)市民などによる文化芸術活動に関するさまざまな情報の収集・発信に努めます。
- (3)文化芸術の振興に顕著な功績のあった市民などの顕彰に努めます。
- (4)文化芸術の振興に関する施策への市民などの意見の反映に努めます。

2 文化芸術活動に対する支援に関すること

地域の文化芸術活動の活性化につなげるため、市民などによる文化芸術活動の促進に努めます。

- (1)市民などによる文化芸術活動に対する支援に努めます。
- (2)市民、活動団体、文化施設、学校などの連携構築に努めます。
- (3)市民などによる文化芸術活動に必要な各種情報提供に努めます。
- (4)市民などによる文化芸術活動に必要な環境の整備に努めます。

3 文化芸術の創造、発表及び鑑賞機会の充実に関すること

文化芸術に対する親近感を醸成するため、市民などの文化芸術の創作・発表・鑑賞機会の充実に努めます。

- (1)ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、市民などによる文化芸術活動の場となる文化施設の機能や利便性の向上に努めます。
- (2)優れた文化芸術活動・芸術家・作品の掘り起こしや市民などへの公開に努めます。
- (3)市民などの創作・発表・鑑賞の機会の確保・提供に努めます。

②-2 鳥取市文化芸術振興に関する基本方針 (2/2)

4 地域の伝統に培われた文化芸術の保存、継承及び活用に関すること

地域の歴史・文化を後世に残していくため、優れた文化芸術活動・作品や貴重な文化財などの保存・活用に努めます。

- (1)地域の伝統文化の保存・継承活動に対する支援に努めます。
- (2)地域にゆかりのある芸術家の優れた作品などの保存・継承に努めます。
- (3)地域の伝統文化の掘り起こし・保存・活用に努めます。
- (4)地域の伝統文化の担い手となる人材の掘り起こし・育成に努めます。

5 文化芸術を担う人材の発掘及び育成に関すること

地域の文化芸術活動の持続・発展につなげるため、文化芸術の担い手となる人材の発掘・育成に努めます。

- (1)地域の優れた芸術家や活動団体と小・中学校などとの連携構築に努めます。
- (2)さまざまな分野の文化芸術体験の機会の提供に努めます。
- (3)青少年のための良好な活動・鑑賞環境の提供に努めます。
- (4)若手芸術家の活動に対する支援の充実に努めます。

6 文化芸術に係る交流の促進に関すること

地域の文化芸術活動の活性化につなげるため、文化芸術活動を通じた市民や活動団体などの交流促進に努めます。

- (1)市民や文化活動団体同士の交流の機会の提供に努めます。
- (2)交流活動に対する支援の充実に努めます。
- (3)姉妹都市をはじめとする他都市の文化芸術活動などとの連携構築に努めます。

7 文化芸術を生かしたまちづくりに関すること

文化芸術の振興を地域の活性化につなげるため、まちづくりを進める中で、文化芸術の活用や、文化団体・芸術家などとの連携に努めます。

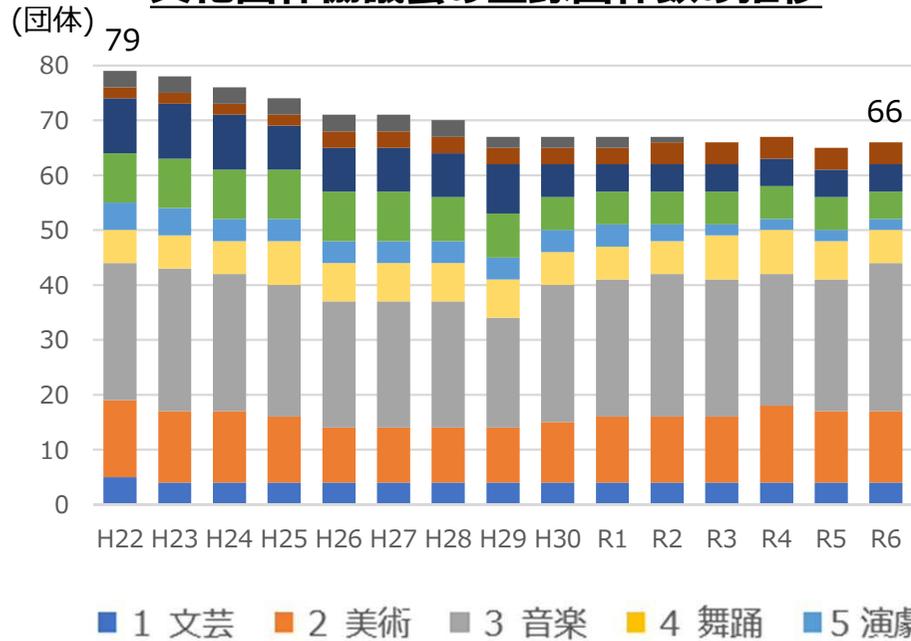
- (1)文化芸術を生かした魅力的な景観の形成や賑わい創出に努めます。
- (2)文化団体、芸術家などとの連携による関係人口の創出に努めます。
- (3)福祉や交通など他分野との連携による日常生活への浸透に努めます。

2. 将来動向について

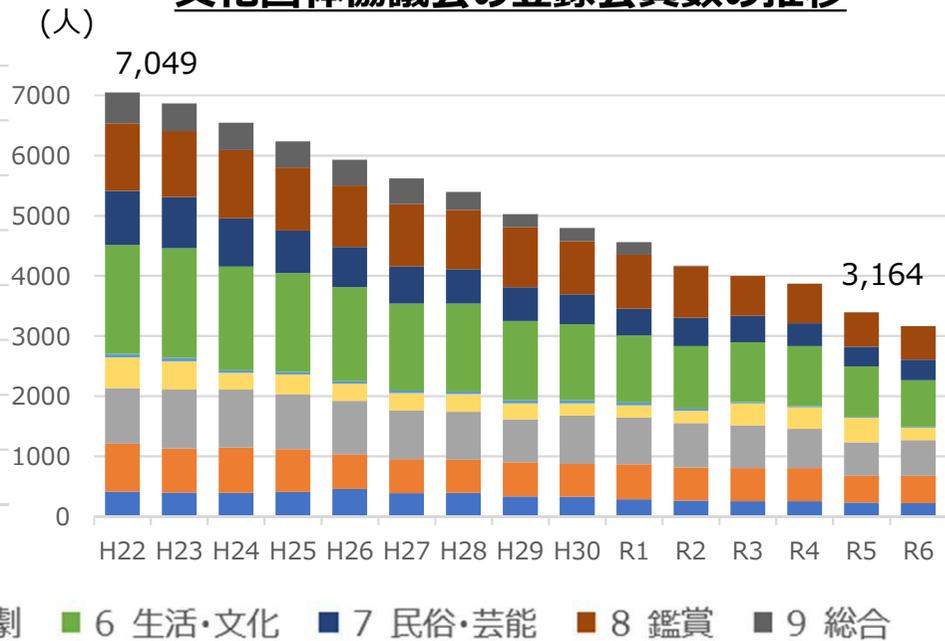
①-1 文化団体数及び会員数の減少

- 人口減少に伴い、文化団体数及び会員数も減少傾向にある。以下は過去15年間の文化団体協議会の登録団体数と会員数の推移である。登録団体数は8割程度に減少、会員数は半数程度に減少している
- 今後市の人口減少にあわせて、文化施設の利用する団体および利用者も減少していくことが見込まれ、新たな文化施設の在り方の検討にあたってはこうした利用者減少の見込みも踏まえる必要がある

文化団体協議会の登録団体数の推移



文化団体協議会の登録会員数の推移



①-2 文化団体協議会の登録団体/会員数の減少(分野別)

- 平成22年から令和6年の文化団体数・会員数の推移を分野別にみると、全体では団体数は2割程度の減少であるのに対し、会員数は半減している
- 特に演劇の分野においては団体数・会員数ともに3～4割に減少している
- 他方、音楽の分野では、会員数の減少は全体と比較するとやや緩やかであり、団体数は増加している

年度	H22年度		R6年度			
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数 H22年度比	会員数 H22年度比
1 文芸	5	415	4	222	80%	53%
2 美術	14	794	13	451	93%	57%
3 音楽	25	921	27	596	108%	65%
4 舞踊	6	511	6	209	100%	41%
5 演劇	5	59	2	18	40%	31%
6 生活・文化	9	1,812	5	768	56%	42%
7 民俗・芸能	10	899	5	341	50%	38%
8 鑑賞	2	1,124	4	559	200%	50%
9 総合	3	514	0	0	0%	0%
合計	79	7,049	66	3,164	84%	45%

②部活動の地域移行

- 文部科学省は、児童生徒のニーズの多様化、生徒数減少に伴う部活動メニューの縮小、教員数の減少や負担増加を背景に、令和5年から2年間を「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動を段階的に地域クラブ活動へ移行する考えを示している
- 鳥取市でも、「鳥取市部活動改革委員会」が設置され、地域移行について協議がなされている。活動場所についての考え方はまだ示されていないが、将来的に新たな文化施設が地域クラブ活動の一つとして活用されることも推察される

令和4年12月

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【概要】



○少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。

○令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。

○部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※Ⅰは中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。Ⅱ～Ⅳは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

<h4>Ⅰ 学校部活動</h4> <p>教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理 部活動指導員や外部指導者を確保 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底 週当たり2日以上の日休みの設定(平日1日、週末1日) 部活動に強制的に加入させることがないようにする 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形での環境整備を進める 	<h4>Ⅲ 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備</h4> <p>新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進 ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知
<h4>Ⅱ 新たな地域クラブ活動</h4> <p>学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進 困窮家庭への支援 	<h4>Ⅳ 大会等の在り方の見直し</h4> <p>学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施 できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保 全国大会の在り方の見直し(開催回数精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等)

③障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の施行

- 2018年に「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行され、国・自治体は、障害者による文化芸術の鑑賞・創造・作品等の発表の機会の拡大・確保等に必要な施策を講ずることが求められている
- 新たな文化施設においては、そういった背景も踏まえてハード面の環境整備を検討する必要があり、特に文化芸術の鑑賞のみならず、舞台上での活動への『参加』ができるような施設づくりの検討が必要

法律の背景・目的(1条)

文化芸術は、これを創造・享受する者の障害の有無にかかわらず、心の豊かさや相互理解をもたらす

文化芸術基本法・障害者基本法の基本的な理念

障害者による文化芸術活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進

→ 障害者の個性と能力の発揮及び社会参加を促進

基本理念(3条)

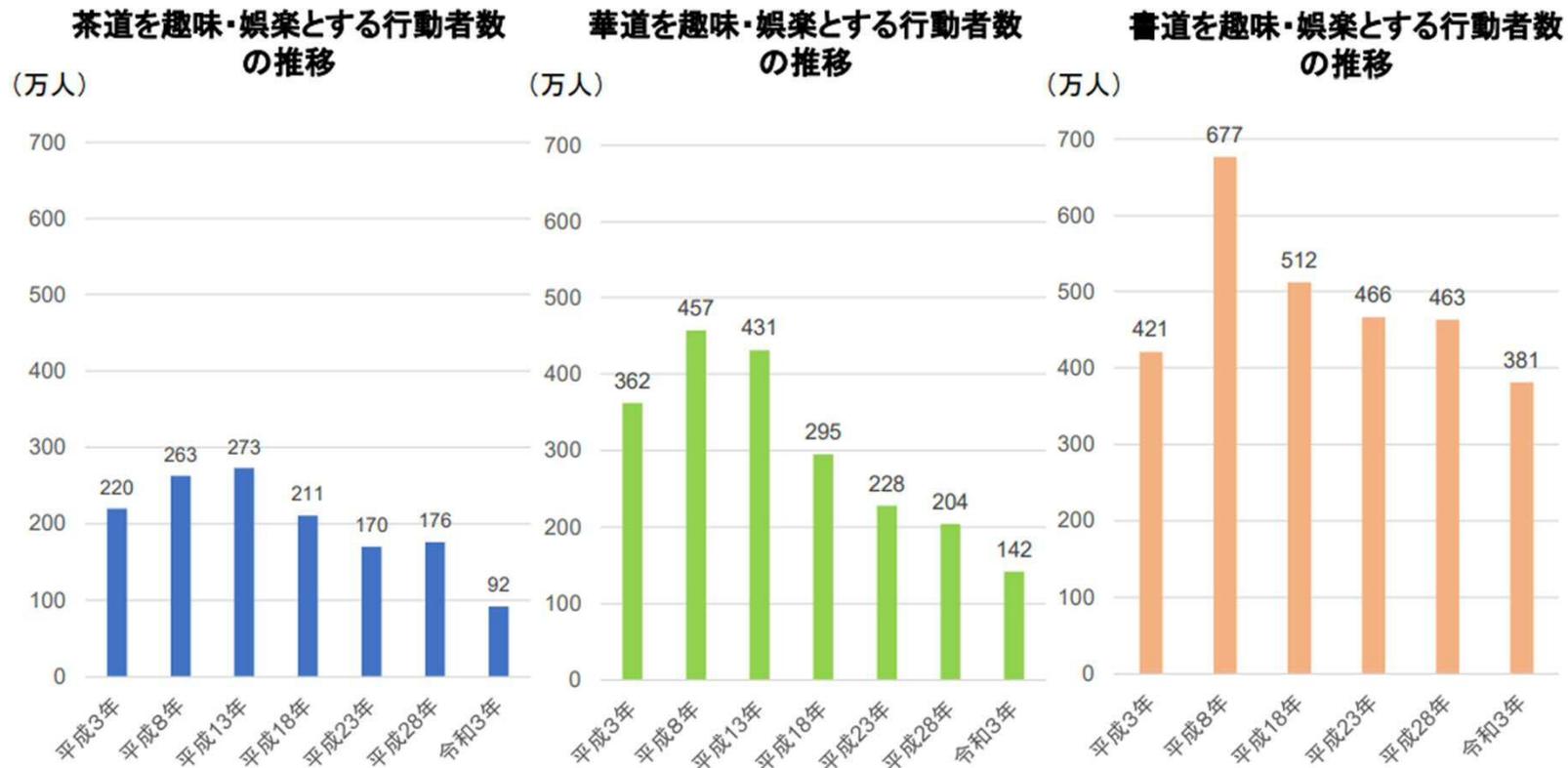
- 障害の有無にかかわらず、文化芸術を鑑賞・参加・創造することができるよう、障害者による文化芸術活動を幅広く促進
- 専門的な教育に基づかずに人々が本来有する創造性が発揮された作品が高い評価を受け、その中心が障害者の作品であること等を踏まえ、障害者による芸術上価値が高い作品等の創造への支援を強化
- 障害者による文化芸術活動に係る地域での作品等の発表、交流等を促進し、心豊かで住みよい地域社会の実現に寄与
- 障害者による文化芸術活動の推進に関する施策については、次のことが行われなければならない
 - ・ 障害者による文化芸術活動に特化した措置を実施
 - ・ 文化芸術の振興に関する一般的な措置の実施における特別の配慮

④-1 文化芸術推進基本計画(第2期) ～データ集より抜粋

生活文化等の振興状況① (行動者数①)



✓ 平成3年からの30年間で、茶道の行動者数は128万人、華道では220万人、書道では40万人それぞれ減少している。



※平成13年はデータなし

出典等：平成3年から令和3年までの総務省「社会生活基本調査」をもとに作成

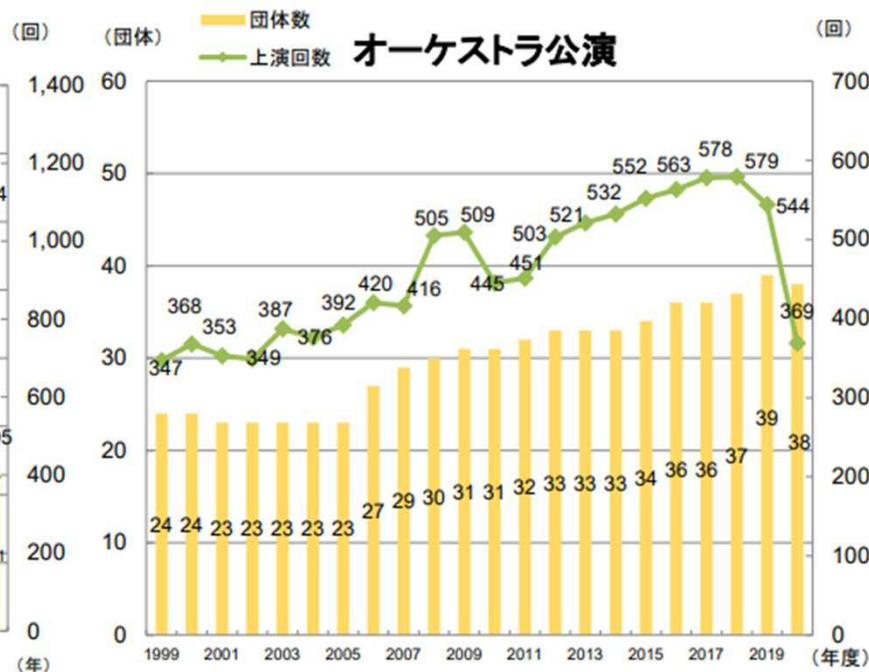
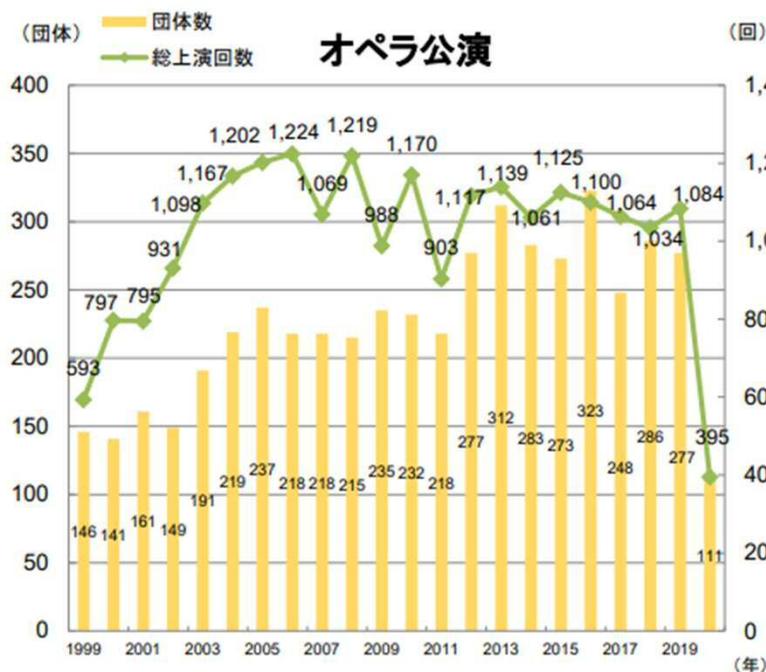
出典：文化庁HP

④- 2. 文化芸術推進基本計画(第2期) ～データ集より抜粋

実演芸術（分野毎の公演回数）①（オペラ、オーケストラ）



✓ オペラ公演は横ばいなし漸減、オーケストラ公演は2011年から増加し続けていたところ、新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年はいずれも大きく減少した（上演回数は、オペラで前年比65%減、オーケストラで前年比32%減）。



※「団体数」は、公益社団法人日本オーケストラ連盟に加盟する団体数。
 ※「上演回数」は、公益社団法人日本オーケストラ連盟に加盟する団体による自主公演かつ定期公演の回数。

出典：(学)昭和音楽大学オペラ研究所「日本のオペラ年鑑2020」(2021)

出典：(公社)日本オーケストラ連盟「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑2021」(2022)

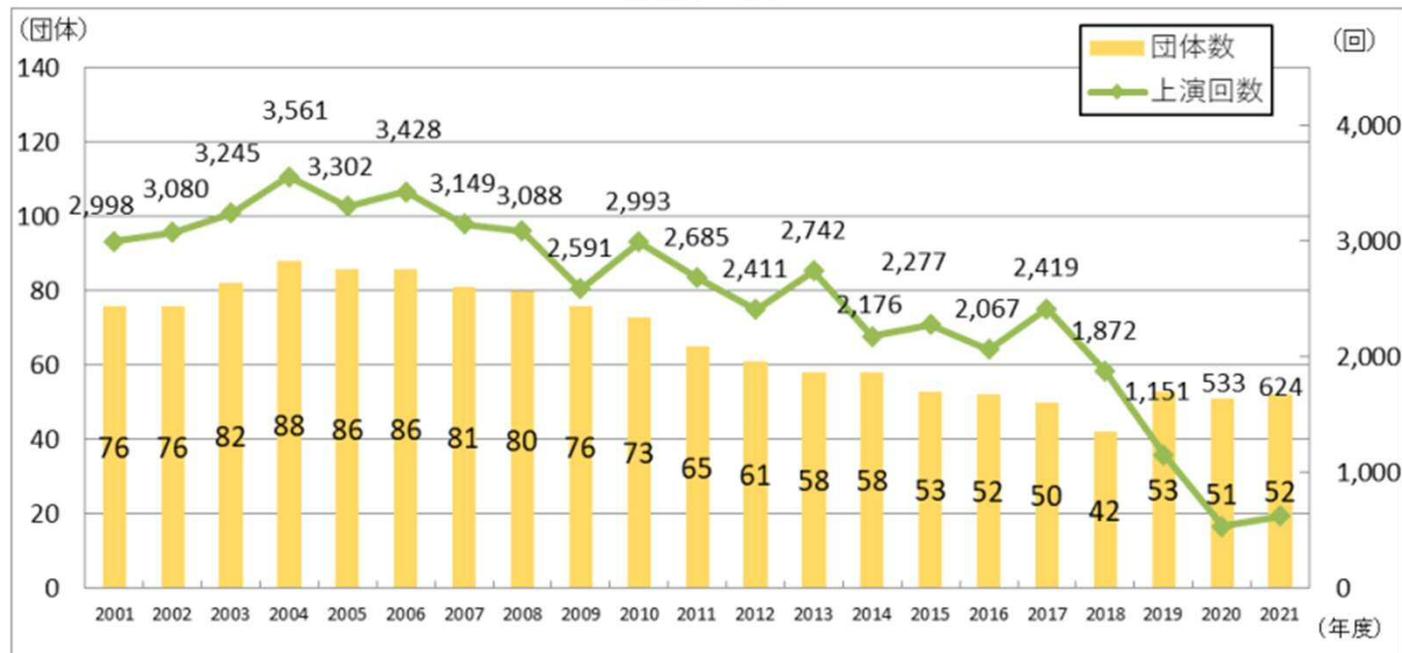
④- 3. 文化芸術推進基本計画(第2期) ～データ集より抜粋

実演芸術（分野毎の公演回数）②（演劇）



- ✓ 演劇公演を実施した団体数・上演回数は2004年度をピークに減少傾向にある。
- ✓ 2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、上演回数が前年に対して半減した。

演劇公演



※ 「団体数」は、公益社団法人日本劇団協議会に加盟する団体数。
 ※ 「上演回数」は、公益社団法人日本劇団協議会に加盟する団の主催（劇団の本公演（自主公演）・アトリエ公演）による上演回数。

出典：(公社)日本劇団協議会「上演記録に関する調査研究報告書」(各年版)

他都市事例の紹介

資料2-6

分類	施設名	
音響に配慮した多目的ホール（固定席）	1	サントミュージゼ（長野県上田市） 小ホール（320席）
	2	えずこホール（宮城県柴田郡大河原町） 大ホール
	3	サンポートホール高松（香川県高松市） 第1小ホール（312席）
	4	三原市芸術文化センターポポロ（広島県三原市） 大ホール（1,209席）
	5	長野市芸術館（長野県長野市） メインホール（1,292席）
	6	名取市文化会館（宮城県名取市） 大ホール（1,327席）
	7	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（滋賀県大津市） 大ホール（1,848席）
平土間対応可能な多目的ホール	8	水都やながわ（福岡県柳川市） 大ホール（803席）
	9	サザンクス筑後（福岡県筑後市） 大ホール（1,331席）
	10	山口情報芸術センター（山口県山口市） スタジオA（450席）
	11	安来市総合文化ホールアルテピア（島根県安来市） 小ホール（300席）
	12	サンポートホール高松（香川県高松市） 第2小ホール（308席）
平土間空間	13	えずこホール（宮城県柴田郡大河原町） 平土間ホール
	14	アオーレ長岡（新潟県長岡市） 市民交流ホール
	15	おにクル（大阪府茨木市） きたしんホール（多目的ホール）

※他都市事例はホール専門家の意見を参考に抽出

サントミュージゼ（長野県上田市） 小ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

サントミュージゼは、北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分の場所に位置する。大小ホール、美術館、交流芝生広場など、芸術と人々が交流する場として整備された。

小ホールは、音楽、演劇、舞踊、講演会など、幅広いジャンルの演目に対応できるホール。左右に袖舞台を備え、**音楽利用時には袖舞台の仕切り壁が音響反射板としての役割を果たす。**

音響反射板なし



音響反射板あり



面積/寸法	220㎡(袖舞台含む)
収容人数	320席（最大372人収容） （1階席：288席（うち車椅子席4席）、バルコニー席：32席）
音響	デジタルミキシングコンソール、アンプリモートシステム、オーディオネットワーク（Dante）
舞台	可動バトン6本
照明	調光操作卓、ホリゾントライト、ポーターライトLED器具
付帯施設	楽屋5室、主催者事務室

えずこホール（宮城県柴田郡大河原町） 大ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

えずこホール（仙南芸術文化センター）は、J R大河原駅から2 km程の場所に位置する文化ホール。確かな芸術と文化の“創造の瞬間”を共有するための空間とされ、大ホール、平土間ホール・屋外劇場、練習室等が整備された施設。

大ホールは、音楽を中心に演劇やミュージカル、多様な公演などにも対応した、**音響特性のよいシューボックス型**のホール。天井もひとときわ高く、ゆたかな響きを生み出す。



面積/寸法	192㎡(間口16m×奥行12m)、高さ8～13m(プロセニウムまで)
収容人数	802席(1階：584席、2階：218席) 車イス席：常時4席(最大20席)
音響	IN/24本、OUT/20本
舞台	音響反射盤、スクリーン、仮設花道、吊物機構(電動)：絞り緞帳、暗転幕、カスミ幕7(内1共用)、袖幕4、引割幕2、バトン9(内2共用)、バック幕、ホリゾン幕
照明	容量280KVA、回路数165、ボーダーライト3(内1切替スイッチ付)、サスペンションライト3
付帯施設	楽屋4室

サンポートホール高松（香川県高松市） 第1小ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

サンポートホール高松は、J R 高松駅から徒歩3分の場所に位置する高松シンボルタワーの一施設。大ホール（1,500席）、2つの小ホール、会議室、市民ギャラリー等が整備された施設。

第1小ホールは、プロセニウム型のホールで舞台芸術の公演・発表や会議・集会にも利用可能。**音響反射板**をはじめとする舞台設備や**残響可変装置**を備える。

プロセニウム型



音響反射板あり



面積/寸法	プロセニウム開口：11m すのこ高さ：18m プロセニウム高さ：6～8m 主舞台部寸法：11×12m
収容人数	312席（前舞台席78席、車椅子席8席、親子席4席）
音響	プロセニウムスピーカー（センター）、サイドスピーカー（L,R）、ステージフロントスピーカー、シーリングスピーカー、ウォールスピーカー、固定はね返りスピーカー固定設備パワーアンプ、等
舞台	前舞台迫り・難聴者設備・残響可変装置・音響反射板・浮き構造
照明	調光操作卓、ボーダーライト・アップーホリゾンライト・ローホリゾンライト、フロントサイドスポットライト・シーリングライト、サスペンションライト等
付帯施設	楽屋3室、ホワイエ

三原市芸術文化センター ポポロ（広島県三原市） 大ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

三原市芸術文化センターは、JR三原駅から徒歩で20分で、市の中心部近くの宮浦公園の一隅に建てられたホール・リハーサル室・練習室などを備えた文化施設。市民の活動の拠点であり、憩いの場でありたいという思いから、「ポポロ（イタリア語で民衆・人々）」という愛称がつけられた。

大ホールには、フライタワーとオーケストラピットを完備。音響効果に優れたシューボックス（直方体）型と、客席から舞台がよく見える囲み型の融合により、本格的な芸術空間を実現。

幕仕様（舞台）



音響反射板あり



面積/寸法	間口：18m 奥行：13.6m（搬入口 高さ：5m 間口：5m プラットフォーム高さ 76cm）
収容人数	1,209席（1階：853席 内車いす対応19席 2階：356席）
音響	プロセニアムスピーカー、サイドスピーカー、ステージフロントスピーカー、2階席補助スピーカー、固定FBスピーカー、ウォールスピーカー、アンダーバルコニースピーカー、ラインアレイ型スピーカー、移動用パワードスピーカー
舞台	音響反射板（吊り下げ式）、暗転幕、スクリーン、仮設花道、ピアノ、
照明	アッパー・ホリゾンライト、ロー・ホリゾンライト、ボーダーライト等
付帯施設	リハーサル室、会議室、練習室（2室）、ホワイエ

長野市芸術館（長野県長野市）メインホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

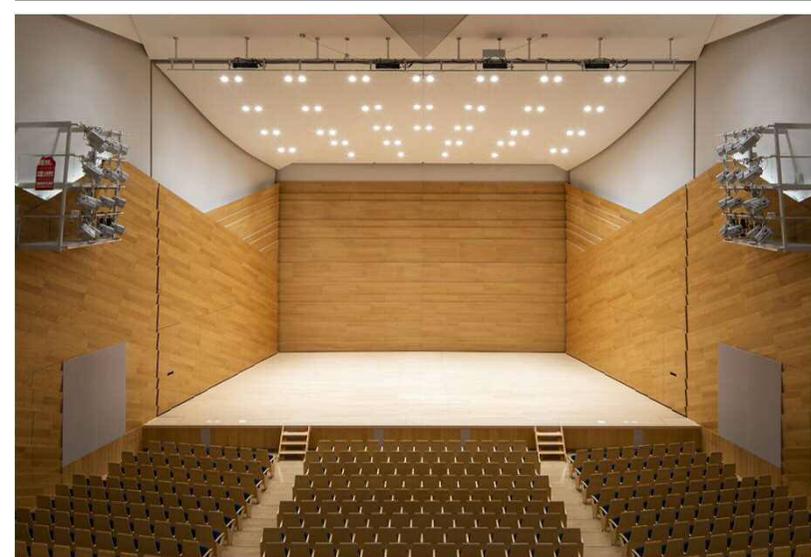
長野芸術館は、JR長野駅から徒歩15分の場所に位置する、長野市民の文化芸術交流拠点。長野市役所第一庁舎との合築となっており、メインホール（1,292席）、リサイタルホール（293席）、アクトスペース（230席）、展示サロン（160㎡）、各種練習室等が整備された施設。

メインホールは、音響効果に優れ、コンサートに最適な**シューボックス型**をベースに、2階席部分は多角形の囲み型を取り入れた本格仕様の音楽ホール。（音楽公演だけでなく、バレエ・ダンス・演劇・伝統芸能などの舞台芸術公演にも対応できる多機能ホールとしても利用可能）

音響反射板なし



音響反射板あり



面積/寸法	間口18m 奥行16.4m 高さ12.4m（※音響反射板使用時は、奥行：11m） 客席床から舞台床の高さ：90cm（プロセニウム形式 間口：12.7～17.7m 高さ：7.2～12m） 舞台一スノコ高：23m オーケストラ迫 間口：19m 奥行：4.4m
収容人数	1,292席（1階席：916席 2階席：376席（うちバルコニー席10席）） オーケストラ迫使用時：1階客席前4列（106席）減 車椅子席：最大20席（1階可動席を撤去）
音響	プロセニウムスピーカー、サイドスピーカー、ステージフロントスピーカー、バルコニー下補助スピーカー、2階席補助スピーカー、シーリングスピーカー、固定はねかえりスピーカー、大型スピーカー、パワードスピーカー等
舞台	音響反射板、オーケストラ迫、幕類、仮設脇花道等
照明	アッパー・ホリゾンライト、ロー・ホリゾンライト、カッターライト、パーライト、フォロースポットライト等
付帯施設	ホワイエ、楽屋エリア（主催者事務室、楽屋9部屋、スタッフ控室、ラウンジ、洗濯室）

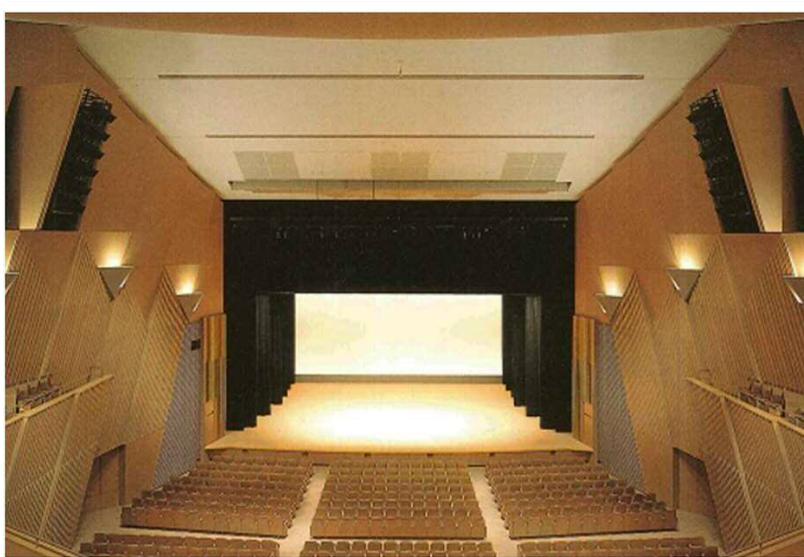
名取市文化会館（宮城県名取市） 大ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

名取市文化会館は、J R 名取駅から徒歩15分の場所に位置する、市民の文化創造・活性化のための拠点。大・中・小三つのホールと各種用途に応じた様々な会議室等が整備された施設。

大ホールは、**走行式音響反射板、各種舞台機構**を備えた本格的な音楽用・演劇用の多機能ホール。

プロセニウム形式



音響反射板あり



面積/寸法	奥行：19m 幅：35m（音響反射板設置時 間口：17.7m 高さ：12m） （プロセニウム形式 間口：12.7～17.7m 高さ：7.2～12m）
収容人数	1,350名(通常最大席数 1,327席：固定席1,279席 + スタッキング席48席)
音響	スピーカー（JBL）、ラインアレイスピーカー（音が垂直方向に広がるのを抑制し、水平方向にのみ音を広げることが可能なスピーカー）等
舞台	走行式音響反射板、暗転幕切穴、椅子迫り、オーケストラピット（平土間ピット）、電動・手動ボタン、ライトブリッジ、ライトタワー、オペラカーテン、プロセニウムライト天井開閉、フロントサイド壁開閉、仮設花道、第1、第2、第3シーリング室、ピンスポット室、舞台用エレベーター
照明	アッパーホリゾンライト、サスペンションライト、ボーダーライト、ライトブリッジ、プロセニウムライト等
付帯施設	ホワイエ（楽屋5室）、アーティストラウンジ（控室2室、予備楽屋2室）

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（滋賀県大津市） 大ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

名取市文化会館は、J R大津駅から徒歩20分の場所に位置する、芸術劇場。びわ湖ホールは、国内有数の4面舞台を備えた大ホール（1,848席）、演劇向けの中ホール（804席）や、アットホームな小ホール（323席）を備えた施設。

大ホールは、「オペラハウス」と「コンサートホール」2つの劇場形式が可能で、4面舞台をもつプロセニアム型劇場と、走行式音響反射板（シェル）を使用したシューボックス型コンサートホールの2つの劇場形式をもっている。

プロセニアム型（劇場）



音響反射板あり



面積/寸法	プロセニアム開口 間口：21.5m 高さ：12.5～15.5m ポータル開口 間口：14.4～23.4m 高さ：0.5～17m 奥行：主舞台23m（最大46m） オーケストラピット 126㎡ 横幅：21.5m 奥行：4.45m 最深：4.15m
収容人数	1,848席（1階：755席 2階：435席 3階：372席 4階：282席 車椅子席：4～16席） （オーケストラピット設営時 1,712席）
音響	メインコンソール（Soundcraft Vi6）、プロセニアムスピーカー、カラムスピーカー、フライングスピーカー、聴覚障害設備（磁気誘導ループ）
舞台	走行式音響反射板、オーケストラ迫り、スライディングステージ（回り盆を内设）、遮音シャッター、暗転幕等
照明	ホリゾンライト、ダウンライト、シャンデリア、パーライト、ビームライト各種、フラッドライト各種、プロファイルスポット各種、効果器各種等
付帯施設	ホワイエ（楽屋5室）、アーティストラウンジ（控室2室、予備楽屋2室）

出典：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールHP (<https://bunka.natori.or.jp/>) 8

Livewalker (https://www.livewalker.com/pickup/9820_biwako-hall.html#google_vignette)

水都やながわ（福岡県柳川市） 大ホール

平土間対応可能な多目的ホール

水都やながわは、西鉄天神大牟田線「西鉄柳川駅」から車で6分の場所に位置する。大ホール、イベントホール、研修室・会議室、ギャラリー、レッスンルーム・スタジオ、中庭、堀割広場、駐車場等を備えている。

大ホールは、プロの公演に対応する高い音響効果をもつホール。**1階客席は空気浮上式を採用しており自由なレイアウトが可能**なため、公演から展示までマルチな空間として利用可能。また、客席後方の壁を開放し、ロビーから広場、堀割と連続する空間を構成している。



1階客席は自由にレイアウト可能。客席後方の壁を開放し、ロビーから広場、堀割と連続させることも可能。



面積/寸法	間口：18.1m 奥行：16.5m、プリセニウム高さ9.0~11.0m 面積 559㎡
収容人数	803席（1階 可動席:559席、2階 固定席:240席、車椅子席:4席）
舞台	音響反射板、オーケストラピット、可変速バトン6本、スクリーン等
照明	アッパーホリゾンライト、サスペンションライト、ボーダーライト等
付帯施設	楽屋4室、楽屋事務室、楽屋ロビー、シャワー室、楽屋トイレ

サザンクス筑後（福岡県筑後市） 大ホール

サザンクス筑後は、JR鹿児島本線「羽犬塚駅」から徒歩12分、九州新幹線「筑後船小屋駅」から車で15分の場所に位置する。大小ホール、イベントホール、研修室、ギャラリー、練習スタジオ、ベル広場を備えている。

大ホールは、音楽の催しを主とした多目的ホール。**前方客席はロールバックチェア**で、収納すれば**平土間として展示会やレセプション**など多目的に利用することができる。



平土間利用時



面積/寸法	間口：18m 奥行：16.2m、高さ7.2~9.0m(可動プロセニウム) 面積 772㎡
収容人数	1,311席（可動席:734席、固定席:564席、車椅子席:4席、親子観劇室:9席） ※可動席部分を平土間利用する場合、レイアウトにより定員を増やすことも可能
音響	プロセニウムスピーカー、サイドカラムスピーカー(L,C,R)、シーリングスピーカー(L,R)、シーリングスピーカー、ウォールスピーカー、ステージフロントスピーカー、運営スピーカー、ホワイエスピーカー、3点吊りマイクロフォンシステム、エレベーターマイクロフォン
舞台	音響反射板、電動・手動バトン
照明	アッパー・ホリゾンライト、サスペンションライト、ボーダーライト等
付帯施設	楽屋5室、主催者事務室、グリーンルーム、シャワー室、給油室

山口情報芸術センター（山口県山口市）スタジオA

平土間対応可能な多目的ホール

山口情報芸術センターは、JR新山口駅から徒歩25分の場所に位置する、通称「YCAM（ワイカム）」として親しまれるアートセンター。メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に活動し、展覧会や公演、映画上映、ワークショップなどのイベントを開催している。

スタジオAは、ダンスやライブ・コンサートをはじめとする公演から、大規模なインスタレーション作品の展覧会まで幅広いイベントを開催できるシアター（劇場）スタイルのスペース。舞台はエンドステージタイプとなっており、ひな壇の客席を地下に収納することも可能ですべての空間をフラットにすることも可能。



多用途での利用が可能



面積/寸法	舞台：幅14.4m×奥行き12.9m（舞台フロントラインから奥舞台前面可動壁まで）×高さ16m（スノゴ下面まで） 平土間：幅20m×奥行27m×高さ9m（客席部の固定ブリッジまで）
収容人数	450名（客席設置時）
付帯施設	楽屋、調整室

安来市総合文化ホールアルテピア（島根県安来市）小ホール

平土間対応可能な多目的ホール

アルテピアは、安来駅から車で10分ほどの場所に位置する、安来市の文化・芸術の拠点。1000席の大ホール、小ホール、展示室、市民ギャラリー、会議室等を併せ持つ施設。

小ホールは、音楽を主目的とした多機能ホールとなっている。平土間形式にも対応し、パーティー・宴会等も対応可能。



平土間利用時



面積/寸法	間口10.9m × 奥行8.7m × 高さ5.7m（※音響反射板使用時は、奥行：9m）
収容人数	座席数：300人 可動席：225席、移動席：71席、多目的室：4席
音響	音響調整卓、プロセニウムスピーカー、移動型サイドスピーカー、移動型はね返しスピーカー、舞台/客席シーリングスピーカー
舞台	音響反射板、吊物バトン、袖幕バトン、水平幕バトン他
照明	調光操作卓、移動型調光器、スポットライト

サンポートホール高松（香川県高松市）第2小ホール

平土間対応可能な多目的ホール

サンポートホール高松は、JR高松駅から徒歩3分の場所に位置する高松シンボルタワーの一施設。大ホール（1,500席）、2つの小ホール、会議室、市民ギャラリー等が整備された施設。

第2小ホールは、自由自在なボックス型ホール。移動観覧席と分割昇降式舞台を備え、客席や舞台を収納することで、平土間ホールとすることが可能。



分割使用時



面積/寸法	25m×15m（平土間形式。2分割使用可、天井高さ 7.5m）
収容人数	308席（移動観覧席297席、車椅子席8席、親子席3席）（平土間使用時500席）
設備・備品	ピアノ
舞台	分割昇降舞台11分割、昇降式トラスフレーム18基、難聴者設備、ホール2分割可動間仕切り、浮き構造
付帯施設	楽屋3室、ホワイエ

えずこホール（宮城県柴田郡大河原町）平土間ホール

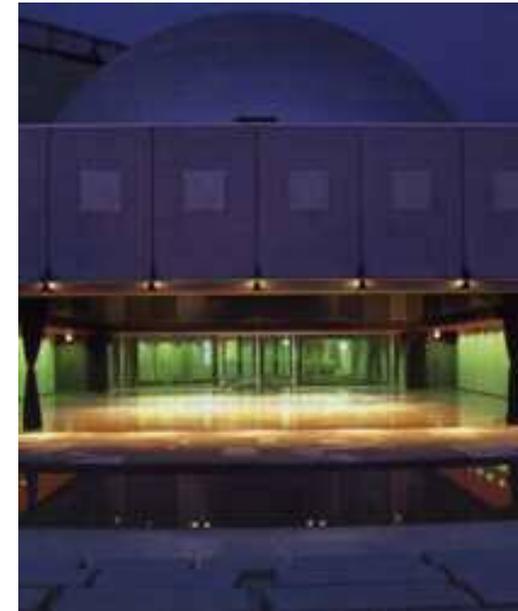
多目的に利用可能な平土間空間

えずこホール（仙南芸術文化センター）は、J R大河原駅から2 km程の場所に位置する文化ホール。確かな芸術と文化の“創造の瞬間”を共有するための空間とされ、大ホール、平土間ホール・屋外劇場、練習室等が整備された施設。

平土間ホールは、大小2つの**電動昇降ステージで多彩なステージバリエーションに対応可能**。実験劇やコンサート、映写会、各種公演、パーティ、展覧会など幅広い利用ができる。また、屋外劇場に面したサッシは前面開放できることから、**屋外と一体となったイベント**(能、神楽、コンサートなど)が開催可能。



屋外劇場（300席）と一体利用が可能



面積/寸法	-
収容人数	約300席(可動式でステージ下に収納)
設備・備品	オープンエンド、アリーナ、床迫り
音響	IN/12本+ステレオIN4本、OUT/18本
舞台	バトン1、スクエアバトン6、 Horizont幕、バック幕
照明	容量90KVA、回路数60(アッパー・ホリゾンライトのみ常設)
付帯施設	楽屋1室

アオーレ長岡（新潟県長岡市）市民交流ホール

多目的に利用可能な平土間空間

アオーレ長岡は、JR長岡駅前の旧長岡市厚生会館及び周辺の公園等を含めた約1.5haの区域に、厚生会館機能を受け継ぐ“アリーナ”、冬季でも様々な活動ができる“ナカドマ(屋根付き広場)”、“市役所本庁機能”を一体的に配置した複合施設。

市民交流ホールA、B、C、Dは多用途で利用可能。

市民交流ホールA



市民交流ホールB・C



市民交流ホールD



平土間空間に可動ステージ、電動可動席があり、多目的に利用可能。各種発表会や演奏会などの講演に用いられる。

ガラス張りのホールのホールで、ダンスや軽スポーツ、講演会や展示会に利用可能。ホールB・Cは可動間仕切りの収納により一体利用ができるようになっている。

面積/寸法	314㎡
天井高	4.8m
収容人数	電動可動席 + イス席 200席（ステージ使用時） イスのみ：270脚
設備・備品	電動可動席(153席)、仮設ステージ式、グランドピアノ、展示パネル、プロジェクター、長机、スタッキングチェア、講演台
床仕上げ	フローリング
音響	音響調整卓(ワイヤレスマイクシステム一式、BDデッキ、映写装置)
舞台	水平幕兼スクリーン、照明バトン、電動道具バトン
照明	アッパー水平ライト、フロントサイドスポットライト、ピンスポットライト
付帯施設	楽屋2室、楽屋トイレ

面積/寸法	ホール B…210 ㎡ ホール C…160 ㎡ ホール D…110 ㎡
天井高	2.7 m
収容人数	ホール B…イス 84脚（スクール形式使用時） ホール C…イス 84脚（スクール形式使用時） ホール D…イス 60脚（スクール形式使用時） ※ホールB・C一体利用時はイスのみで300脚
設備・備品	電動可動席(153席)、仮設ステージ式、グランドピアノ、展示パネル、プロジェクター、長机、スタッキングチェア、講演台
床仕上げ	ホール B・C… フローリング ホール D… カーペット
付帯施設	楽屋2室、楽屋トイレ

おにクル（大阪府茨木市）きたしんホール（多目的ホール）

多目的に利用可能な平土間空間

おにクルは、JR茨木駅と阪急茨木市駅の両駅を結ぶ「東西軸」と、元茨木川緑地の豊かな自然が広がる「南北軸」が交わる、まちの中心部に立地する施設。「育てる広場」をコンセプトに、ホールや図書館、子育て支援、市民活動センター、プラネタリウムなど、多くの機能が入る複合施設。

きたしんホールは、平土間のホールで、椅子を並べることができる。**ステージは稼働床でフラットにすることも可能**。コンサートのほか、**ホールの扉を開け放った状態でのマルシェ等での使用も可能**。



エントランスと一体利用が可能



面積/寸法	291.1 ㎡
収容人数	定員245人、ステージ使用234席
設備・備品	スクリーン・プロジェクター、演台、展示用大型移動壁、展示パネル、簡易ステージ 等
音響	ワイヤレスマイクロホン、ポータブルアンプスピーカー、音響再生機 他
舞台	リリウム
照明	LEDスタンドライト
付帯施設	楽屋

新たな文化施設を取り巻く課題の整理

- ✓ 「既存施設の利用状況/データ分析」「将来動向」「ヒアリングの結果」などを踏まえ、以下の3つの視点で課題を整理
→①ヒト：文化活動、②モノ・ハコ：施設・機能、③まち：まちとのかかわり

①ヒト ～ヒトによる文化活動

みる

- 集客・収益性を要因として、市内の興行系イベントの開催頻度が少なく、**リアルな文化芸術に触れる機会が減少**している
→政策的/教育的な観点から、市民の見る機会を増やす対応が求められている（鑑賞会など）
- 対応可能な機能を有する施設がないことも要因のひとつとして、**高品質の音楽に触れる／鑑賞する機会が少ない**（※音楽系ヒアリングより）

する

- 市の人口減少にあわせて、文化団体協議会の登録団体/会員数も減少傾向にあるなど、**する活動そのものが減少**している
- ホール、展示機能：利用されているコンテンツの幅は広いものの、それぞれの活動に適した施設・設備等が備わっていないため、**多様なニーズに対応できていない可能性**がある
- 収蔵・美術館に係る要望はあるものの、**財源の問題に加えて、学芸員の確保・運営主体等のあり方・関係機関との調整**が必要

- 演劇・踊りなどの利用については利用者ヒアリングを実施予定
- これまで施設を利用していない市民の意見はワークショップやアンケートで確認予定

- 関係団体等へのヒアリングやワークショップ等でも意見聴取

ささえる

- 文化芸術活動を行う人の減少や部活動の地域移行も見込まれ、**市民（特に若年層）がする・みるに成長するための機会創出が見込みにくい**（→地域での下支えが必要）
- 文化芸術を通じた**次代を担う子供たちの育成や地域コミュニティの活性化**に資する取組・活動が必要
- 高齢者や障がい者を含め、あらゆる人々が文化芸術活動を通して社会に参画し、**多様な価値観が尊重されるような環境整備**が必要（→場や支える仕組みづくり）

②モノ・ハコ ～施設・機能

- 施設全般
 - いずれの施設も稼働から50年前後が経過し、施設・設備が老朽化しており、バリアフリー対応、動線、諸室のスペックなどが十分ではない（→結果的に施設の使い勝手の観点から利用が限定的となっている可能性）
- ホール機能
 - 市民会館では1,000席のキャパシティを十分に活用できていない利用が多い（→規模の大きな興行系イベントはとりぎん文化会館とし、規模に応じたすみ分けをすることができないか）
 - 市民会館・文化ホールに関し、一定規模のホールが確保できた場合でも、両施設の土日の稼働が高いため、既存コンテンツや今後のニーズを吸収しきれない可能性（→他の施設との利用の分散の可能性はないか）
 - 対応するコンテンツに合わせたホール形態（固定席/平土間）の検討が必要（→今後の活動の多様化や施設の柔軟性を踏まえると平土間が望ましいか？）
- 展示機能
 - 現在、県立博物館で行われている市美術展の開催に対応できる市の施設はない状況（→市美術展の開催には約1,000㎡が必要とあるため、県とのすみ分けを考えることができないか）
 - 展示機能：展示・書道・華道など、多様な活動が行われているが、活動に適した施設・設備のスペックが不足
- 練習機能
 - 防音性能を備えた練習室がないなど、市民の活動に適したスペックの練習室が不足

③まち ～まちとのかかわり

- 現在は各施設とも交流・賑わいを創出するようなまちとのつながりや機能はほぼない状況
- これまで文化施設を利用していない層も含め、あらゆる方が気軽に集い、活動できる空間が少ない（→エリアで賑わいの創出ができるような空間・運営のあり方や、回遊性をもたらす施設やエリア形成の検討が必要）